

森 一久 様

平成 22 年 1 月 8 日

堀居 太一

寒中お見舞い申し上げます。

ご恵送の資料とお手紙有り難く拝受致しました。

一通り目を通してみて貴兄に出会ったころの事を懐かしく回顧してみました。
別添の週刊碁のコピー(昭和63年1月15日成人の日 日本棋院中央会館 特別棋力認定大会)を見てみると、私は5戦全勝、貴兄は4勝1敗と掲載されていますので、何局目であったのかは記憶に有りませんが、幸いにして私が勝ちを拾い6段位の免状を付与された事になります。

蛇足ですが、昭和62年11月23日 日本棋院本院 小春日認定大会で5戦全勝して5段位を取得したのですが、梅沢由香里少女がアマ6段を取った事が記載されています。あの少女が梅沢棋士の幼少時の姿なのだなあと思う事があります。

終了後、簡単な食事をして歓談をし、住所の紹介をしあいました。何故かお互いが印象深く残っていたのでしょう。20数年にわたって賀状のやり取りをしてきて今日に至る経緯になります。

その折、貴兄は浜岡の原子力発電所のお話をされ、原子力に関連する企業か団体に所属されている方として認識しておりました。

毎日新聞の「被爆の日から」の投稿文の中から「核技術を手にする国には品格が求められます」という表現が印象深く感じ取りました。文中に貴兄は被爆者である事を知りました。被爆者が原子力行政に携わるのは意義ある事だと存じます。

「品格」というのは難しい事です。横綱の品格、政治家としての品格、事業家としての品格、役人としての品格、あらゆる分野でこの事が問われているような気が致します。

私は「忠恕」と言う言葉が好きです。品格の中にこれが加わってこそ、人類の発展と成長があるのかもしれませんが。「勇気」とか「想像」といった言葉が加味されると適格なものになるのでは無いでしょうか。

人類はまだもの事を決める決定的なルールをもっていません。こんな事を加味

する事により民主主義が完成していくのではないかと思います。

私は昭和30年代に戦後の復興から立ち直り、外貨不足の折に農林省より農業機械や施設の国産化のため約半年弱アメリカに視察派遣されました。その知識により事業化に成功し、それによる人生でした。

貴兄は浜松の原子力発電所云々の事を述べておられましたので、原子力関係の仕事に従事しているのだなあと考えております。

また、私は73歳です。貴兄は83歳と記してありますが10年先輩である事を今回知った次第です。

これを機会にささやかな交流をさせて頂こうと考えております。お申し越しの再会についてもそんな事が進展した頃合いをみてと考えております。

貴兄は新聞の写真から見るとお元気そうですが歳相応ですか。私は釣りを趣味としております。これが出来る間はまだまだ大丈夫かなと考えております。

現在、定期的に囲碁雑誌は取っていませんし、週刊碁も止めています。「囲碁 梁山泊」この雑誌の講読のお勧めがありましたもう少し発行元、読者層の特長を知らせて頂ければと考えております。

ワープロでのご返事をご容赦下さい。私は頭が先に走ってしまいとてつもない乱筆なので失礼致します。

向寒の折、ご自愛の程。
取り急ぎ、お礼とご返事まで。

敬具

堀居太一

＜参考＞

平成6年9月13日、週刊碁に山城宏九段との公開対局での三子局が掲載されましたのでコピーを同封しておきます。私の腕前はこの程度です。浜松は地元なので身分の掲載をしない事を条件に了解したので「堀居さん」になっています。

私はこの大会で名人戦クラスに参加しましたが、準決勝のときに、名人戦に優勝して次回の招待の資格を得るか、今回の公開対局の権利を取るかと云われ、公開対局を選んだ次第です。主催者側の時間の都合のようでチャンスを掴めた事になります。

日本棋院関西総本部、中部総本部主催の囲碁ゼミナールで当時としては浜松での開催は珍しいので地元の方が多く参加していました。それでふせた次第です。

ただ、ご理解してもらいたいのは公開対局と言うのはアマ側がどうしても半目下がります。なれない壇上で解説者の羽根泰正九段、聞き手浅野泰子初段の声と観客の喚声が聞こえてきます。それに時間制限があります。どうしてもアマ側には慣れない事ですのでそれだけハンディを背負ってしまいます。

終了後、棋友の方は終盤には数目リードしていたから、勝たなければいけませんでしたと言われました。特に地方棋士の方からは叱られました。

私の棋暦を紹介します。

祖父が老眼で棋力が初段くらいの腕前でしたが、今思えば弱いのに毎日新聞碁を並べておりました。上達したかったのでしょう。それを中学生の私に前日分から番号順に並べさせました。勿論私は囲碁を知りませんから何でも早く並べればよいと言う気持ちでいました。並べ終わると10円のお駄賃をくれるのが楽しみでの事でした。そのうちに私は囲碁の形を覚え、次はどのへんをさがせば良いかを知るようになってしまいました。数年続けていますと自然に理屈抜きで棋理が解ってくるものです。そんな事から手談の道に入った次第です。

19歳の時初段の腕前でした。1500円払って免状を頂きました。昭和31年頃の事です。その後、30歳位までには3段格位になっていたと思います。

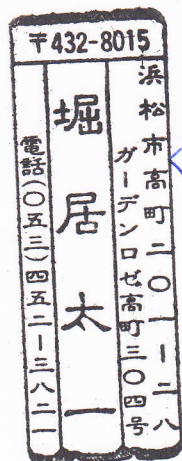
それ以後、30歳代、40歳代にはほとんど碁に力を入れる事は仕事の都合上余裕はありませんでした。45歳過ぎ頃からゆとりが出て2段、3段、4段と認定大

会等で無料で免状を取得しました。そして 5 段、6 段を先に紹介したような次第で付与され、今日に到っています。

ある大会で優勝したところ日本棋院免状に関する担当理事から 7 段の推薦状を貰いました。50 万円の寄付要請がありましたので、この手紙そのものが免状と思って取得しませんでした。私の囲碁免状に対する趣旨に反するのでお断り致し、放棄致しました。

時折、地区代表になる事が出来る程度が私の実力ですが、もはや 200 手位から読みが急激に浅くなり、勝ち残れなくなっています。世代交代はやむを得ません。

以上



碁だより

中央会館特別 棋力認定会

日本棋院・中央会館（東京 八重洲北口）主催の「特別棋力認定会」が一月十五日、二百人が参加して行われた。成績優秀者は次のとおり。

- ▽初段戦 5勝1敗 堀居太一（浜松市）中村二（東村山）4勝1敗 澤美霞（豊島区）高砂弥（横浜市）鈴木勇（越谷市）森一久（藤沢市）石川善康（新宿区）
- ▽二段戦 5勝1敗 富田盛夫（高松市）4勝1敗 竹中剛（川崎市）宮島英雄（千葉市）

- 明（目黒区）鈴木忠克（世田谷区）原輝彦（川口市）勝田三郎（横浜市）小田島善幸（稲城市）
- ▽四段戦 4勝1敗 榎田賢治（目黒区）村越正敏（厚木市）3勝1敗 吉田昭（八千代市）是川英造（相模原市）阿部勝男（大田区）新一郎（東久留米市）遠山威（市川市）清水博一（北区）
- ▽三段戦 4勝1敗 勝川雅之（千葉市）石坂政夫（前橋市）3勝1敗 小野寺三朗（品川区）塚原正一（横浜）岩田総（船橋市）中島利男（川崎市）
- ▽二段戦 4勝1敗 梅田敏之（取手市）田畑五郎秀（板橋区）3勝1敗 横井真之（大宮市）渡辺満（千葉市）佐藤雅幸（鶴岡市）榎井直人（流山）

朝日販売人囲碁大会



第8回朝日販売人囲碁大会（朝日新聞東京本社販売局・東京都連合朝日会主催、日本棋院・週刊碁後援）が一月十五日、東京・市ヶ谷の日本棋院会館一階囲碁教室で、六十

人が参加して開かれた。写真上。この大会は日ごろ、週刊碁販売に協力されている方々の囲碁ファンが集まって親善を深めるために行われるもので、今回は週刊碁発行10周年を記念して、競技のあと懇親パーティーが行われた。

▽A組 優勝 上野博司五段（中野町）②順宮克己五段（日野）
▽B組 優勝 藤崎充二級（出版販売部、初段）②増田定雄一級（田無、初段）
▽C組 優勝 花井和美五級（販売開発、3級）②福田昭夫三級（関連企業室）

東大囲碁部OB会
東京大学囲碁部OB会が一月十七日、東京・市ヶ谷の日本院会館一階ホールで六十人が参加して行われた。写真上。今回は従来の東大十

柳蛙会新春
柳蛙会（佐藤幹雄四段を囲む）
柳蛙会新春

柳蛙会新春
柳蛙会（佐藤幹雄四段を囲む）
柳蛙会新春

柳蛙会新春
柳蛙会（佐藤幹雄四段を囲む）
柳蛙会新春

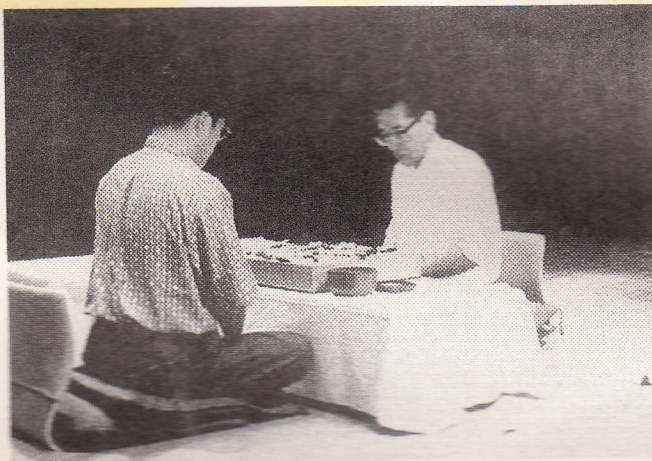
柳蛙会新春
柳蛙会（佐藤幹雄四段を囲む）
柳蛙会新春



柳蛙会新春
柳蛙会（佐藤幹雄四段を囲む）
柳蛙会新春

堀居さん、三子で善戦

一局ご指南



参加者代表の堀居さんと山城宏九段に三子で挑戦

静岡県・館山寺温泉で開催された関西・中部四縣本部合同の夏期囲碁ゼミナールは、全国から二百人を超えるファンを集めて大盛況だった。このゼミナールには本紙も「一局ご指南」の企画をもって参加、参加者代表の堀居太一さんが山城宏九段に三子で挑戦した。善戦虚しく惜敗したけれど、あと一步のところまで追いつめた堀居さんの熱戦譜を紹介しよう。

堀居さんは地元・静岡の在任、日頃、大著明吉地方棋士五段の指導を受けているそう。相手は山城九段、難関の羽根泰正九段に、聞き手が浅野泰子初段。腕には覚えがあるし、最近、関西の水戸タナリ二段に三子で完勝して自信も持ち合わせているようだ。

しかし、プロはそうは甘くない。気楽な暮らながらも、公開対局となるとプロ意識がむらむらと燃え盛るのである。堀居さん、要

注意である。

〈第1譜〉

三子の手合いになると、プロの言いなりなっているたのでは、なかなか勝てない。ときには反発も必要に

なってくる。ところが、この妥協と反発の兼ね合いがまたむずかしいのだ。

たとえば白9と黒10、当然の反発に見えけれど、羽根九段は黒11と三子制し

ておくのが自然な流れだと

黒14が狙いを秘めた手。

黒A、白B、黒Cの切断を

にらんでいる。黒14がないと白Dとずるずる出てこ

れてしまふのだ。このへんは堀居さんに手ばかりはな

い。ただし、白25のオシに単に黒26とトンだのは「らし

パンチ一発の機迷す

〈第2譜〉

黒5と二本ノゾいてから

7と上トンだのも、やや甘そう。白8とハネられ、黒9が利かしくな

っているとはいいたいとい

う。黒5と打った以上、黒18とワタるべきだった。

山城 宏九段
堀居 太一さん

